



いまい 勝 今井まさる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

子どもの医療費

模様を特集します。

聞きました。質疑の沼の浄化などについて県の施策を

「通院」助成、早期実現を

市町村の現物給付化へ

だれもが住んで良かったと思えるふるさとづくりに全力を上げている今井勝県議(我孫子市選出、2期)は2月県議会で一般質問に立ち、さまざまな分野における

県の取り組みを森田知事に質しました。子ども医療費の対象

年齢引き上げ、道路建設、新工

ネルギー問題などを取り上げた

ほか、地元手賀沼の浄化などに

ついて県の施策を聞きました。質疑の



2月県議会で登壇し、一般質問を行う今井勝県議

2月県議会一般質問 我孫子市特集

今井議員 千葉県人の人口が減少したとの報道もあり、これからはますます魅力ある自治体が国民から選択されていく時代だ。森田知事は3年前に掲げた県知事選マニフェストの重点施策の一つに「子育て日本一を目指す」として、中学校卒業まで子どもの医療費無料化を掲げた。

これまで段階的に助成年齢が拡大されてきたが、来年度当初予算案では、入院の医療費について対象を中学校3年生まで拡大するとの方針が示された。

そこで聞くが、子どもの医療費を中学卒業まで無料化することについて、いつまでに実現させる考えか。

知事 今回、保護者の経済的な負担が大きく、子どもの保健対策としての重要な高い入院の医療費の助成について、中学校3年生まで拡大したいと考えています。

これは、現在の厳しい財政状況を踏まえれば大きな到達点と認識しています。今後は財政状況を見ながら、これまでの対象拡大の効果も踏まえ、市町村の動向や医療現場の状況などをよく見極めながら、通院の医療費の助成について総合的に判断してまいりたいと考えています。

知事 通院の医療費助成については、今後の財政状況を見ながら、市町村や医療現場の状況を見極め、判断してまいりたい。

再質問

今井議員 通院に係る医療費の助成については、平成23年

12月現在で、28市町村が独自に助成をしている。厳しい財政状況下ではあるが、早期実現に向けて、知事の意気込みを聞かせてほしい。

知事 通院の医療費助成については、今後の財政状況を見ながら、市町村や医療現場の状況を見極め、判断してまいりたい。

この事業は、被災地域の地場産業を支える企業が新たに従業員を雇用する場合に助成金を支給したり、市町村が地域の特性を活かして女性や高齢者を雇用する事業を実施する場合に助成を行うもので、本県には5億円が配分される予定で

さらに、円高等の影響に対する雇用支援として、失業者の雇用の場を確保するため、「震災等緊急雇用対応事業」として、全国枠で、2000億円が増額され、本県には46億1千万円が配分される予定となっている。

今井議員 厳しい雇用情勢を踏まえ、地元市町村など一体となつて、スピード感をもって取り組んでいただきたい。

商工労働部長 被災地域

今井まさる・PROFILE

略歴

- 昭和23年 1月 我孫子市生まれ。湖北小、湖北中、柏日体高卒
- 昭和41年 4月 千葉日産入社→退社
- 昭和43年 4月 今井タクシー入社→会長
- 平成11年11月 我孫子市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成17年 4月 県議会議員補選337票差で次点
- 平成19年 4月 県議会議員初当選(2期連続当選)

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員長
- 自民党 総務会常任総務
- 自民党県連 組織本部委員
- 議員連盟 私学振興、動物愛護、商工、靖国神社、地域医療、幼児教育、保育所、医療、調理師、宅地建物等、介護、防衛、資源リサイクル、看護、ハツ場ダム、カジノ、環境保全

国の雇用復興推進事業 5億円、本県に配分へ

要望 今井議員 厳しい雇用情勢を踏まえ、地元市町村など一体となつて、スピード感をもって取り組んでいただきたい。

●県政や我孫子のご相談、ご意見を聞かせてください

今井まさる 県議事務所

〒270-1138 我孫子市下ケ戸1825
TEL.04-7181-7181
FAX.04-7181-7187

線先地 崎佐布市 葉孫子 千葉我孫子 道我孫子 県道我孫子 バイパス建設、7割進捗

今井議員 建設行政についてうかがう。我孫子市布佐地区は東日本大震災により液状化が発生し、大きな被害が発生した。これを受けて我孫子市では布佐東部地区復興対策室を設置し、本格的な復興に向けてまい進している。

この地区の復興にあたっては、地区内の幹線道路である「国道356号」や「千葉葉童ヶ崎線」、また、計画されている「我孫子流山自転車道」などによる道路ネットワークの環境整備は、防災対策とあいまって、新たなまちづくりには絶対に不可欠だ。

そこでうかがうが、県道千葉葉童ヶ崎線我孫子市布佐地区先のバイパス事業の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 県道千葉葉童ヶ崎線我孫子市布佐地区先のバイパス事業については、周辺の交通混雑の緩和を図



県議会議場の自席で再質問をする今井勝県議

国道356号我孫子市都交差点の改良

震災被害の復興に寄与

我孫子流山自転車道線の整備

ることを目的に、JR成田線布佐駅の東側において、延長360mの整備を進めています。

JR成田線のアンダーパス工事については、平成23月に完成したところであり、平成23年度末の進捗状況は、事業費ベースで7割となる見込みです。

平成24年度についても、取り付け部のボックス工事を進めるなど早期供用に向け、事業の推進に努めてまいります。

今井議員 国道356号我孫子市都交差点の改良と県道我孫子流山自転車道線の整備については、布佐東部地区の復興計画と併せて行うべきと思うがどうか。

県土整備部長 我孫子市布佐東部地区は、昨年の東日本大震災により甚大な被害が生じたところであり、現在、我孫子市において復興に向けた計画づくりを進めているところです。

手賀沼の第6期湖沼水質保全計画

今井議員 手賀沼の水質は北千葉導水事業などにより大きく改善され、最近では手賀沼の悪臭の原因になっていたアオコの発生も減少した。しかし、依然として国の定める環境基準の1リットルあたりCOD5.0mgは達成しておらず、引き続き効果的な浄化対策が必要だ。

平成18年度から22年度までの第5期手賀沼に係わる湖沼水質保全計画では水生帯整備などの浄化対策

生活排水対策に重点

業が実施されたが、その結果は平成22年度の年平均COD8.9mgで計画目標の7.5mgを達成することができなかった。その理由について、どのように考えているのか。

環境生活部長 目標年度である平成22年度のCOD排出量が、1日当たり3013kgであり、目標とした2990kgをわずかに上回ったこと、目標年度である平成22年度は、年間の日照時間が多く、窒素や燐

を栄養とする植物プランクトンが増殖したことなどにより、CODが高くなったものと考えられます。

今井議員 第6期湖沼水質保全計画の策定方針はどのようなものか。

環境生活部長 第6期湖沼水質保全計画では、「処理放流を改善するため、生活排水対策を重点的に推進する」「植物プランクトンを増殖させる原因となる窒素や燐を削減する」「市街地や農地からの排水による負

荷の比率が高いことから、これらの対策を推進することを方針として策定しているところだ。

この方針を基に、下水道の整備、窒素や燐(りん)の除去性能を有する高度処理型浄化槽の普及促進、市街地等からの初期降雨による流出対策として、雨水浸透施設の設置などを進め、計画的に汚濁物質を削減することとしています。

今井議員 手賀沼の放射性物質モニタリングについてだが、国が公表した公共用水域における放射性物質の調査結果を、県はどのように考えるのか。

環境生活部長 国による県北西部地域の河川や湖沼の調査結果では、手賀沼やその流入河川において、底質の放射性物質や空間線量率が、他の地域より高くなっています。

県としては、放射性物質は水の流れにより移動することから、その動きを把握することは重要と考えています。

今井議員 国がモニタリングを実施しなくなった場合、沼河口も含め蓄積される放射性物質のモニタリングについては、県としてどう考えるのか。

環境生活部長 県の環境研究センターにゲルマニウム半導体検出器など必要な測定機器を整備し、地元自治体や関係団体の意向も踏まえながら、継続的な監視調査を実施していきます。

新エネルギー活用 事業展開を支援

今井議員 エネルギーの問題は、地域や産業の振興のための新たな契機として捉えるべきだ。県では新エネルギー活用推進プロジェクトチームを設置し、民間プロジェクトの支援や推進プロジェクトの支援や推進

県土整備部長 我孫子市布佐東部地区は、昨年の東日本大震災により甚大な被害が生じたところであり、現在、我孫子市において復興に向けた計画づくりを進めているところです。

県土整備部長 我孫子市布佐東部地区は、昨年の東日本大震災により甚大な被害が生じたところであり、現在、我孫子市において復興に向けた計画づくりを進めているところです。

ご質問の国道356号都交差点の改良と県道我孫子流山自転車道線の整備については、被災した当該地区の復興に大きく貢献するものと認識しています。

このため、県としては、これらの道路事業について、我孫子市が策定する復興計画の中で位置付けていくことを要望する。

今井議員 「手賀沼」手賀川活用推進協議会を活用し、手賀沼周辺遊道及び橋梁の整備等について、推進できるよう、国、県、周辺自治体が連携して進めていくことを要望する。

ご質問の国道356号都交差点の改良と県道我孫子流山自転車道線の整備については、被災した当該地区の復興に大きく貢献するものと認識しています。

このため、県としては、これらの道路事業について、我孫子市が策定する復興計画の中で位置付けていくことを要望する。

今井議員 「手賀沼」手賀川活用推進協議会を活用し、手賀沼周辺遊道及び橋梁の整備等について、推進できるよう、国、県、周辺自治体が連携して進めていくことを要望する。

ご質問の国道356号都交差点の改良と県道我孫子流山自転車道線の整備については、被災した当該地区の復興に大きく貢献するものと認識しています。

このため、県としては、これらの道路事業について、我孫子市が策定する復興計画の中で位置付けていくことを要望する。

今井議員 「手賀沼」手賀川活用推進協議会を活用し、手賀沼周辺遊道及び橋梁の整備等について、推進できるよう、国、県、周辺自治体が連携して進めていくことを要望する。